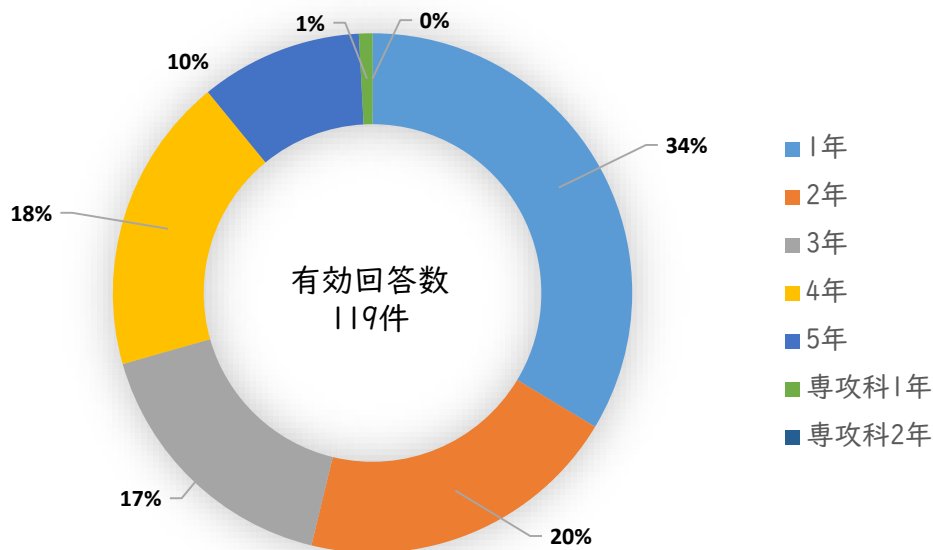


沖縄工業高等専門学校後援会 令和2年度総会 オンライン審議結果のご報告

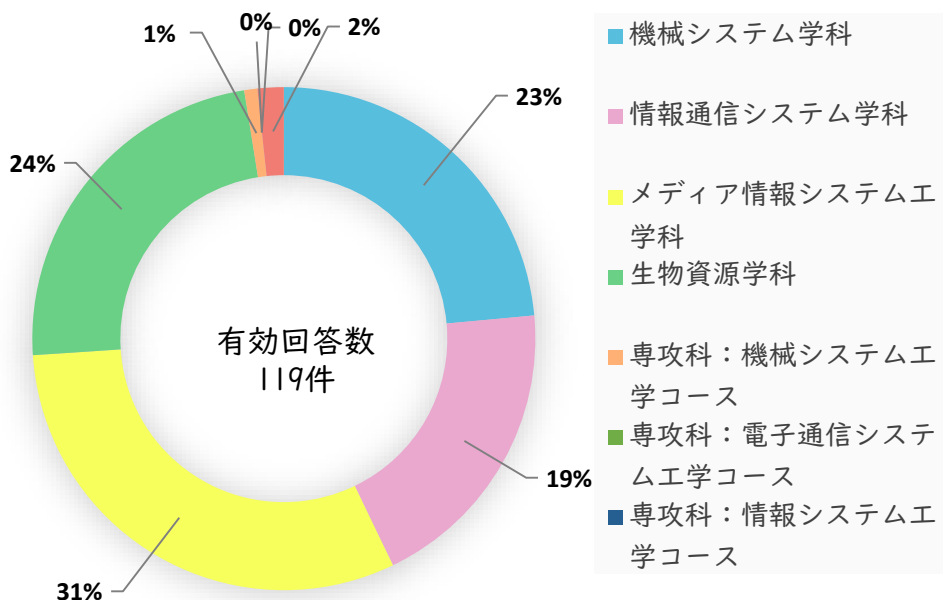
* 令和2年度後援会会員数802名（兄弟児除く）に資料を発送
* 有効回答数119件

【回答者内訳】

・ お子さんの学年を教えてください



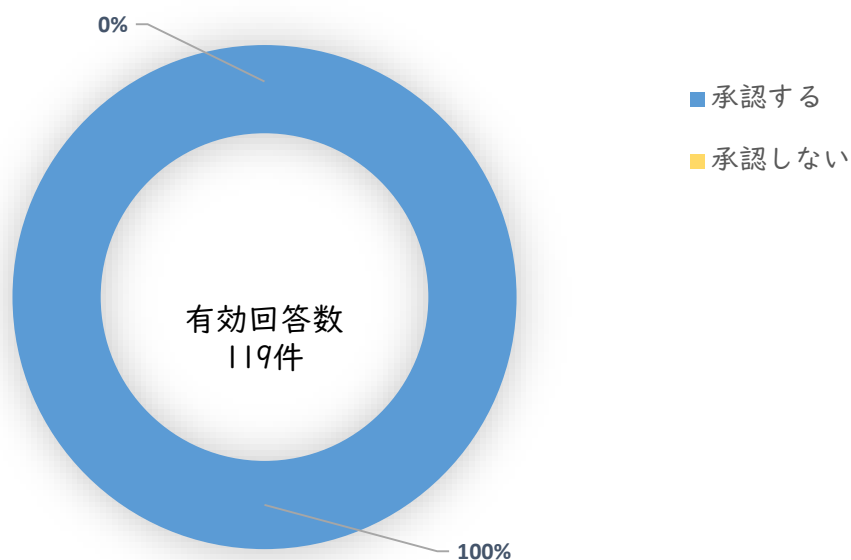
・ お子さんの学科を教えてください



【審議事項】

第一号議案：

令和元年度活動・支援報告に関する件



【第一号議案についてのご意見/4年生保護者より】

昨年度のものなので承認はしますが、以下3つの疑問は残ります。①インターンシップやキャリア講演会等進路指導における活動は学校教育の一部だと思うのですが、違うのでしょうか？②また卒業生のコサージュは必要ですか？世代の違いとは思いますが、私達の時代は式用のリボンだけでした。コサージュ作りに時間や人手を取られるのも不思議ですし、そもそもそれは学校側が用意するものではないでしょうか？③最後に、沖縄支部の懇親会等が7回あり多い様に思います。もう少し減らして予算を節約出来ないのでしょうか？もちろん、皆様のご苦勞は承知していますが、総会と合わせると2カ月に1回活動する事となり、引き継ぐ人の負担にもなります。

【回答/会長(崎山)より】

ご意見ありがとうございます。①学生のインターンシップ先企業等への教員訪問の旅費や、学生を対象としたキャリア講演の講師への謝金・旅費等に後援会から費用を支出しております。前年度は延べ15人の先生方が計31か所を訪問しました。またキャリア講演は述べ22名の講師で計10回開催されました。これらの活動は就職先の選択や就職か進学かで迷う学生たちの悩み解消の一助となっています。ご指摘の通り、進路指導は基本的に学校の役割だと考えますが、その一方で毎年縮小されるという学校の予算だけで、上記の規模の企業訪問や講演開催は難しいと思います。

今年2月の理事会で私は学校側に「先生方の企業訪問は公務とされているが、その経費を学校ではなく後援会が支払うのは何故か？過去の会長や理事会が支援すると決めたからだとしても現会長としては費用対効果を精査したい」と意見致しました。先生方が年間行事的に企業訪問している訳ではないことは承知しておりますが、保護者から預かっている大事な会費を学生のために効果的に使ってほしいと願います。それ故、学校側から支援依頼があった場合は後援会会則の第3条（ぜひご確認ください）に該当する内容か確認してから支援するように心がけています。

②卒業生・修了生に贈るコサージュ作りは、平成22年7月の理事会で審議・承認され翌年3月に最初の作成会が開かれたと記録にありました。記録によれば卒業生にコサージュを贈りたいと保護者から提案があり、それを当時の理事が理事会に審議を求めたことが始まりのようです。例年2月に開催され、卒業生・修了生の保護者を中心に、会員が自由に参加する催しです。材料の選定・購入と会場での制作指導にあたる講師役の方には開催の半年前からお手伝い頂いておりますが、それ以外の多くの参加者は当日の都合の良い時間に参加し、帰りたい時に退席していただく形式です。コサージュ作りの最大の魅力は、自分の子どものために作ったコサージュに保護者直筆のカードを添えて本人に渡せることだと思います。ご存知の通り、参加者の皆さんには自分のお子さん以外の卒業生のコサージュも作って頂くので、多い方は3~4個作って下さいます。それでも

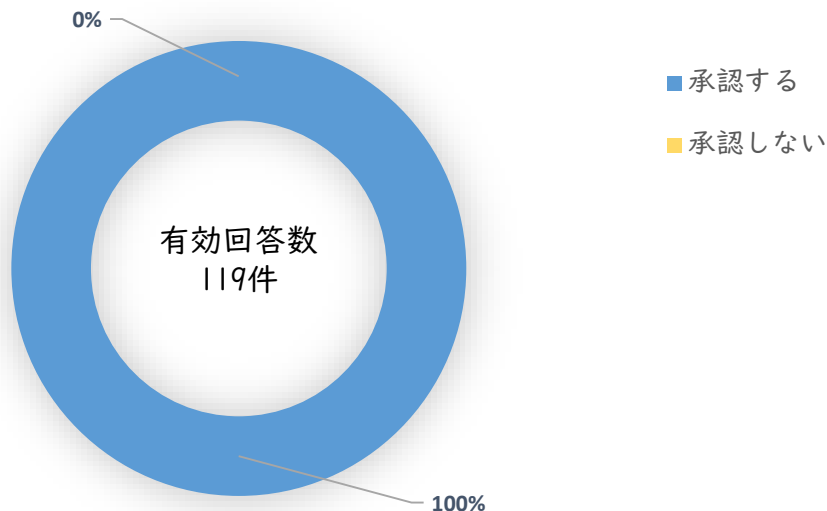
毎年50～70名の参加者数が継続してあるのはなぜか？200名近い学生のためにその4分の1から3分の1の人数の保護者が参加するイベントは他に無いかもしれません。

コサージュ作りは子どもの門出を祝いたい親御さんの気持ちから始まっています。後援会会費を納めてくださる保護者一人一人の価値観や金銭感覚や経済事情は異なり、コサージュを贅沢や不要に感じる方は他にもいらっしゃるでしょう。しかしこれまでに、卒業式でコサージュを付け、誇らしげにしている学生たちを多く見てきましたし、そこに親からの直筆の祝辞が添えられていたら、きっと特別な気持ちを抱いて沖縄高専を卒業できると思います。このようにコサージュ作りは保護者の賛同と共に引き継がれてきたイベントですので、本年度も継続したく活動計画に盛り込み予算化させて頂きました。決して参加を強要されるものではありませんので、ご自分の意思で参加をお決めになってください。

③各支部の活動は、支部会員の希望や意見で行われているもので、その決定については後援会として尊重すべきものと考えます。所属支部の懇親会の回数についてのご意見は支部理事に伝えますので、建設的な議論を期待します。

第二号議案：

令和元年度本会計収支決算（含む本会計支出内訳） 及び特別会計収支決算に関する件



【第二号議案についてのご意見①/4年生保護者より】

寮生会活動支援費とは、どのような所に使用しているのですか。学生の定員数554名と、限定数で支出されている様ですが。

【回答/会長（崎山）より】

ご質問ありがとうございます。寮生会活動支援費は学生寮内で組織されている寮生会の委員会活動を支援しています。予算は寮生の人数に応じて決まります。またその用途は、夏の寮祭/他高専視察（交流）/1年生歓迎遠足/寮内外清掃の消耗品購入/捕食室の消耗品購入等です。

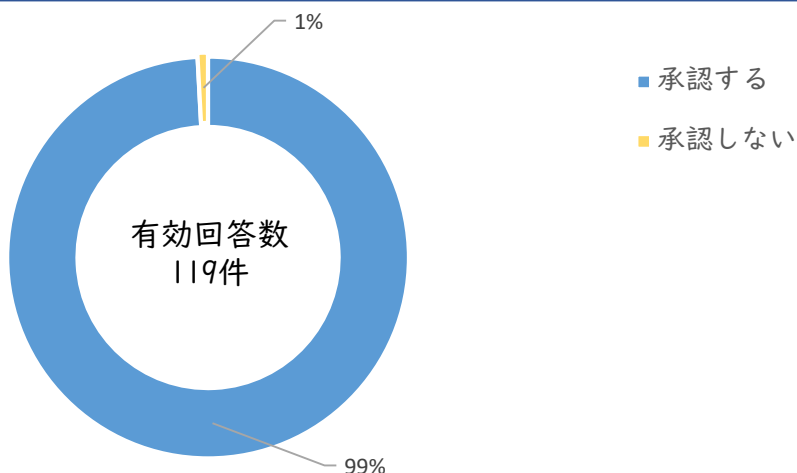
【第二号議案についてのご意見②/4年生保護者より】

18ページ決算補足説明で卒業アルバムについて『実行委員会からの支援要請がなかったため』とありますが、学生側は補助がある事を認識していて、敢えて要請してなかったのでしょうか？

【回答/会長（崎山）より】

ご質問ありがとうございます。学生主事を通して昨年度のアルバム制作委員会委員長に確認して頂いた結果、一昨年度の委員長より「後援会の支援がある」ことを引継ぎされていなかったため、支援要請できることを知らずに購入者が全額負担したそうです。今後は学生主事からアルバム制作委員へ、「後援会の支援がある」ことを必ず申し送りして下さるようお願いしました。

第三号議案：令和2年度活動・支援予定（案）



【第三号議案についてのご意見/4年生保護者より】

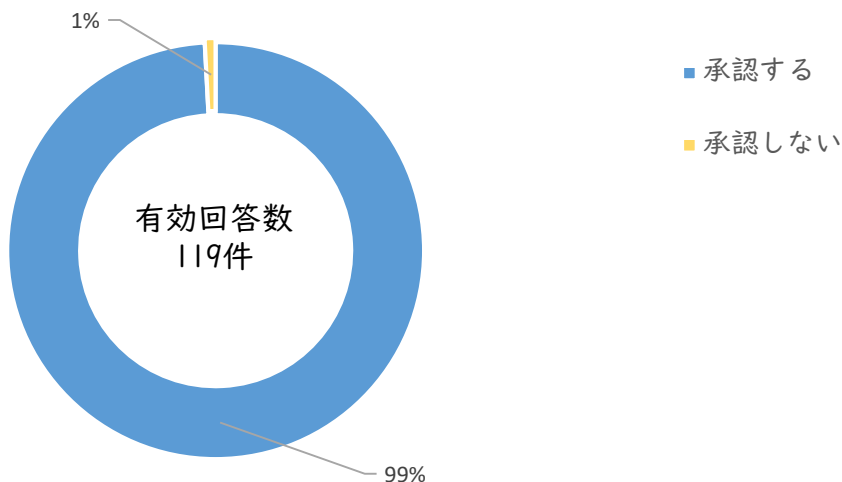
第一号議案の質問項目に書いてある事を検討して頂きたく思い、承認しないにしました。また「臨時備品補充支援費」について、学校が対策すべき項目と後援会が支援した方が良い項目が混同している様に思います。

【回答/会長（崎山）より】

ご意見ありがとうございます。今後、同様のご意見を更に見聞しましたら見直したいと思えます。また、従来、臨時備品補充支援費は、学生やその関連行事で永く使用される物品購入を想定しておりましたが、今年度はコロナ感染予防のためのリモート授業に対する支援や休校中の学生寮の衛生管理・学校再開後のコロナ感染防止策として学校側から6項目で総額256万円超の学生支援依頼がありました。その内容が会則第3条（4）「学生の福利厚生への支援」に該当すると判断しました。

第四号議案：

令和2年度本会計収支予算（案）（含む、本会計支出内訳）
及び特別会計収支決算（案）に関する件



【第四号議案についてのご意見①/5年生保護者より】

支出の2項2目の減は、新型コロナの影響でしょうか？またどのような影響でしょうか？

【回答/会長(崎山)より】

ご質問ありがとうございます。本会計の支出2項2目「課外活動支援費」の減額は、新型コロナの影響です。予算案作成中にコロナ感染拡大防止としてインターハイをはじめとする各種スポーツ大会の中止発表がありましたので、課外活動支援費の66%を占める学生派遣費を前年度の40%に減額しました。今後、各大会主催者が代替の大会を開催した場合や秋以降の大会が通常通り開催された場合は、もちろん規定通り支援したいと考えております。

【第四号議案についてのご意見②/2年生保護者より】

コロナの影響等で収支に差異はでそうですが、また来年通知内容にて確認いたします。

【回答/会長(崎山)より】

ご意見ありがとうございます。状況と必要に応じて柔軟に支援したいと思います。

【第四号議案についてのご意見③/4年生保護者より】

第一号議案の質問項目に書いてある事を検討して頂きたく思い、承認しないにしました。また「臨時備品補充支援費」について、学校が対策すべき項目と後援会が支援した方がよい項目が混同している様に思います。

【回答/会長(崎山)より】

ご意見ありがとうございます。第三号議案と連動するご質問なので、その回答も同様とさせていただきます。

後援会へのご質問、ご要望、ご意見などをご自由にお書きください。(任意)

【ご意見①/1年生保護者より】

各支部もしくはさらにグループ分けし、お互いに連絡し合う取組みは、普段もしくは緊急時には必要ではないかと思えます。

【回答/会長(崎山)より】

ご提案ありがとうございます。学校からの一斉送信メールにはご登録済みでしょうか？学校関連の連絡はこちらを通して行われます。各支部の理事同士はメールで連絡しあうことができます。また、各支部内に関しては理事とスタッフ(お手伝い係)の保護者はLINE等で相互連絡できると思われそうですが、一般の保護者同士は連絡を取り合う関係を築く機会は極めて限られていると感じます。理事以外は支部内の保護者の情報を得る機会がほぼありません。支部イベント(総会、BBQ、懇親会等)に積極的に参加して知人友人を作るか理事かそのお手伝い係になって他の保護者と出会いやすい立場になるかだと思います。お子さんのお友達の保護者と顔見知りになることもお勧めです。総会資料34~35ページにある通り、各支部の人数と構成がバラバラです。まずは所属する支部の理事と連絡をとり、現状把握や意見交換することをお勧めします。支部理事または自分が何支部かご存知ない場合は後援会事務局に電話かメールでお問合せください。

【ご意見②/3年生保護者より】

コロナウイルス禍が収束しても、オンライン審議を継続していただけると、内容もゆっくり検討できるし、また参加もしやすいと感じます。

【回答/会長(崎山)より】

ご意見ありがとうございます。好評を頂けたようで準備した甲斐がありました。オンライン審議はメリット・デメリット双方があると考えます。メリットとしては、時間の制約がない、距離的な参加障壁がなくなる、気軽に参加できることが挙げられます。一方でデメリットとして、対面ではないので意見の真意が伝わりにくい、スマホやパソコンでの質問入力が面倒、双方向な意見交換が困難で議論を深めにくいこと等が考えられます。また、オンライン審議形式の総会は集合形式の通常総会の3~4倍の経費(資料の印刷と送料)がかかります。オンライン審議形式にして参加者=投票数が3倍以上にならないと費用対効果が薄くなります。今回は緊急措置として採用しました。

(前頁より続く)

【ご意見③/4年生保護者より】

日々の後援会活動へのご尽力に心より感謝申し上げます。新型コロナ騒動で不安の中、1日も早く本来の日常に戻ることを願うばかりです。

【回答/会長(崎山)より】

ありがとうございます。会員の皆さんとそのご家族やお仕事に悪影響が出ないことを祈願しております。

【ご意見④/4年生保護者より】

オンライン審議(投票)の準備ありがとうございました。これまで都合が合わずに総会に参加出来ませんでした。今回の取り組みで後援会の活動内容を詳しく知る事が出来ました。今後もオンラインでの参加が出来ると思い良かったです。

【回答/会長(崎山)より】

ありがとうございます。初のオンライン審議に至るまでは紆余曲折あり簡単ではありませんでしたが、このように評価して頂けると今日まで尽力した事務局と理事会、陰で手伝ってくれた仲間が報われます。オンライン審議を今後も続けるかは未確定ですが、なるべく多くの会員が納得できる活動・支援を計画していきたいと考えています。

【ご意見⑤/4年生保護者より】

今年はコロナの影響があり、後援会活動も大変かと思いますが、子ども達のためにこれからもよろしくお願い致します。いつもありがとうございます。なにも出来ず恐縮ですがこれからも活動支援しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【回答/会長(崎山)より】

ありがとうございます。総会資料に目を通されて投票していただきありがとうございました。何より後援会活動にご理解を賜り、毎年会費を納めてくださることに理事会を代表して感謝申し上げます。後援会への参加機会はいくらでもあります。ご自身にあった方法・時期・内容でご意見ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

【ご意見⑥/1年生保護者より】

日頃より後援会活動、ありがとうございます。今年度より入学します。コロナ感染症の影響で例年通りとはいきませんが、今後の教育活動や後援会活動、期待しています。微力ながら協力していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

【回答/会長(崎山)より】

激励と温かいお気持ちをありがとうございます。後援会や支部活動に対する提案や相談もお気軽にお寄せください。できましたら来年度は支部理事に挑戦してください。

【ご意見⑦/4年生保護者より】

後援会の役員の方には、講演会や交友会などいろいろ開催して頂いて感謝しております。

【回答/会長(崎山)より】

ありがとうございます。今後は支部や後援会へのご提案もお寄せください。後援会と会員が相互に情報提供しあえる関係が理想です。得意分野や好きな分野で支部活動や後援会イベントにご参加(企画・協力)ください。

【ご意見⑧/2年生保護者より】

今年はコロナの影響で今までに経験の無かった状態もあるかと思いますが、また引き続きよろしくお願いいたします。

【回答/会長(崎山)より】

こちらこそ、今後も後援会へのご支援とご参加を心よりお願い申し上げます。支えてくださる皆さんがいてこそその後援会です。

【ご意見⑨/2年生保護者より】

今回は特にございません。今年は普通高校に通う娘の大学受験等、自営業の傍ら、各イベントや会の準備等になかなか参加できませんこと、申し訳ございません。来年から高専のイベント、後援会のお誘いなどにも出来るだけ協力できるように努めたいと思います。

【回答/会長(崎山)より】

こちらこそこれまでのご支援ご協力に感謝申し上げます。ご家庭ごととその時その時期の優先順位があります。公私ともに順調な時もそうでない時もあると思います。「できる時にできる事をできるだけ」協力して頂けたら嬉しいです。来年のご参加を待っております。